

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 田辺市

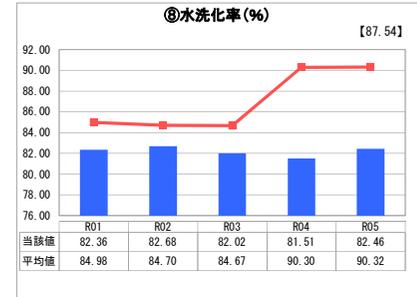
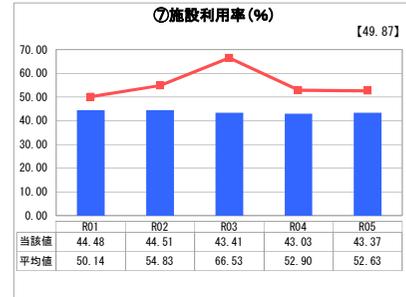
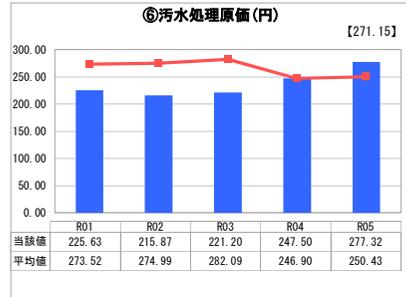
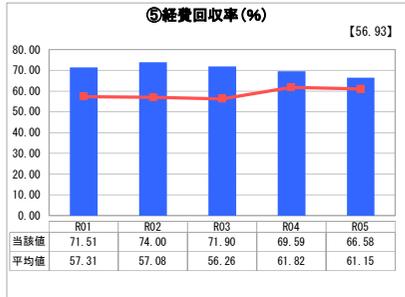
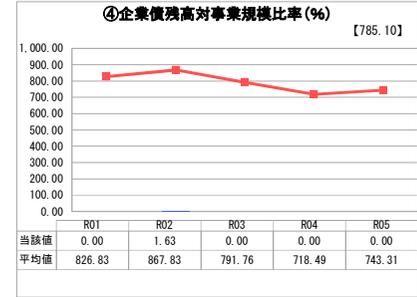
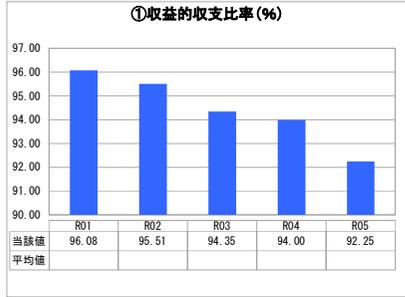
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.83	100.00	3,850

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
68,448	1,026.91	66.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,038	3.35	2,399.40

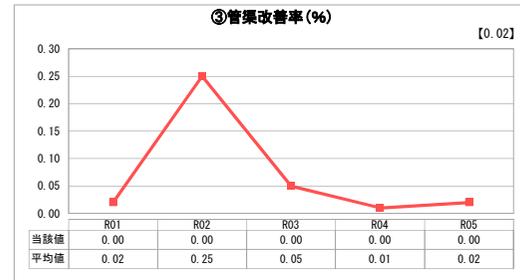
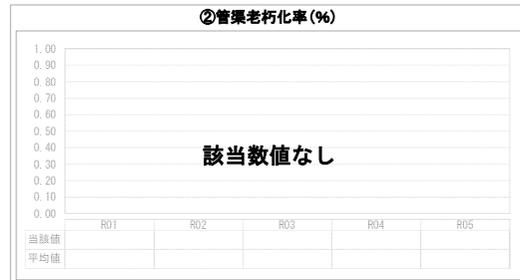
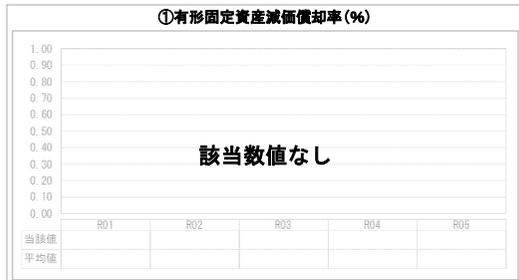
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率及び経費回収率について、本来、料金収入で会計全体を賄う独立採算による経営が基本と考えますが、全体計画区域内の地域実情を勘案する中で、現状の料金収入のみで運営することは困難な状況であり、一般会計からの繰入金収入に頼らざるを得ない状況です。今後、経営改善に向け施設維持管理経費の更なる節減や、計画的な施設改修等に努めてまいります。

汚水処理原価は、類似団体より高い数値となっており、今後も接続率の向上や有収水量の増加に努め、汚水処理原価の改善に努めてまいります。

施設利用率は、類似団体より低い状況が続いておりますので、今後もさらに接続促進の普及啓発・周知活動を行い、施設利用率を高めていけるよう努めてまいります。

水洗化率は、類似団体より低い水準となっており、使用料収入の増加を図るためにも水洗化率向上の取り組みに努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

供用開始から19年～32年が経過しており改修等が必要な時期となっていると考えられます。計画的な改修を行うため、平成28年度に施設及び管路等の機能診断調査と最適整備構想（長期的な改修計画）の策定を行い、令和5年度は真空ステーションポンプ設備の更新を行いました。

今後も引き続き、計画的な施設の改修を行うことで、施設の長寿命化及びライフサイクルコストの低減を図りたいと考えております。

全体総括

本市の農業集落排水事業は、平成17年度の市町村合併以前から旧田辺市域の10地域で行われている事業です。

今後、人口減少により大幅な収入の増加は難しいと考えられますが、健全な経営を続けるために、施設維持管理経費の更なる節減に努めるとともに、平成28年度に行った機能診断調査・最適整備構想（長期的な改修計画）に基づき、施設の長寿命化を図り、経営の安定化に努めてまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。